



INDONESIA SULAWESI TORAJA

RANTEKARUA

PLANTATION

TORAJA RANTEKARUA

農園名: ランテカルラ農園

生産者: Sulotco社

生産地: インドネシア・スラウェシ島・南部トラジャ

栽培品種: : USDA, S795, カツアイ

標高: 1,500m~1,800m

精製処理: Fully Washed



インドネシア・スラウェシ島の南部タナ・トラジャ地区ビトゥアン 群に位置するランテカルラ農園。農園名でもあるランテカルラ (Rantekarua)は現地語で「8つの山々」を意味します。オーナー企業であるSulotco社はボロカン(Bolokan)渓谷に選別工を所有しており、1,200haにも及ぶ広大な敷地のうち600haがコーヒー栽培、400haを別の穀物、200haを保護区となります。ランテカルラ農園 RANTEKARUA PLANTATION 生産量の大半を零細農家が担うスラウェシ島ではコーヒーですが、ランテカルラ農園は、その大規模な農園面積、管理の行き届いた精製設備や乾燥工程により、ただ高品質だけでなく、ナチュラルやハニー精製も可能で、同時に毎年安定した品質をお届けしています。精製・乾燥・選別はSulotco社の設備と管理体制がモノを言いますが、栽培・育成・収穫は現地の伝統民族トラジャ族の農家によって行われています。1,100,000人に及ぶトラジャ族のうち450,000人のトラジャ族が、タナ・トラジャ(トラジャの大地)に居住しています。トラジャ族と言えば岩壁を採掘する埋葬方式や生涯の最大催事がお葬式など独特の風習と、両側が鋭く反り上がった屋根をもつトコナン(Tongkonan)と呼ばれる精巧な住居様式で有名です。19世紀中頃にコーヒーが持ち込まれて以降、コーヒーはトラジャ地域にとって最重要作物となります。

